



We all belong together  
**MORIYASU** Company Limited  
Since 1945

## ■ 経営理念

### 「喜ばれるいい会社」を目指します。

(お客様からも、仕入先様からも、社員からも、社会からも)

#### 私たちの使命

1. お客様の購買業務を代行させて頂き、メリットを提供できるように努めます。
2. お客様に、良きQCDと情報を提供できるように努めます。
3. お客様のニーズや問題を解決できるように努めます。

#### 私達の目指す姿

1. お客様にとって・・・変化する市場ニーズへの柔軟な対応力と提案力を有する会社
2. 仕入先様にとって・・・互いのルールを守り、共に成長し合える信頼できる会社
3. 社員にとって・・・会社と共に自身の成長が実感できる働き甲斐のある会社
4. 社会にとって・・・コンプライアンス、環境を守り、地域社会の発展に貢献できる会社

#### 行動基準

1. 私達は、積極的に、学び、考え、発言し、行動し、そして反省することによって、成長します。
2. 「報、連、相」と、「5S」を、企業活動のベースとします。
3. 「法規、社内規定、社会正義」に対するコンプライアンスを尊重します。

## ■ 環境方針

### 環境基本理念

森康株式会社は、建設機械・産業機械の組立部品の販売を通して、環境保全に配慮した事業活動に努め、お客様、仕入先様、社員及び社会に貢献できる体制を目指す。

### 環境方針

1. 法規制及び関連する利害関係者からの要求事項を順守し、汚染の予防と環境保全に努める。
2. 環境マネジメントシステムを絶えず改善しながら、事業活動の更なる発展を目指す。
3. 事業活動が環境に与える影響を認識し、当社のために働く全従業員に周知徹底するとともに地域社会との共生に努める。
4. 方針を具現化するために、以下の重点活動を推進する。
  - (1) 全ての業務でのムダの排除による省資・省エネルギーの推進。
  - (2) 3R活動の推進による廃棄物の削減及び適正管理。



ファブレスメーカー※として。  
お客さまの「ものづくり」に貢献します。



森康の創業は1945年、小松製作所（現コマツ）との取引からスタートしました。その後、建設機械、産業機械、工作機械などのメーカー各社へのサプライヤーとして実績を積み重ね、今日に至っています。この間、森康は取り扱い商材の多様化を進めるとともに、取り扱う製品すべての品質保証を実施するなどQ・C・Dすべてにご満足いただけるように機能を磨いてきました。同時に、優れた加工技術を持つ国内外の協力企業を束ねた〈ものづくりネットワーク〉を構築、カスタム品やユニット／モジュール品のオーダーにも応じることができる体制を整えてきました。

国内外にもものづくりネットワークを展開するファブレスメーカーとして、お客さまの「より良いものづくり」を支援すること、それが森康の使命です。お客さまのサプライチェーンの中で堅実に機能するサプライヤーとして、またお客さまのものづくりに新しい価値を提供できるパートナーとして、森康をご活用いただきたくお願い申し上げます。

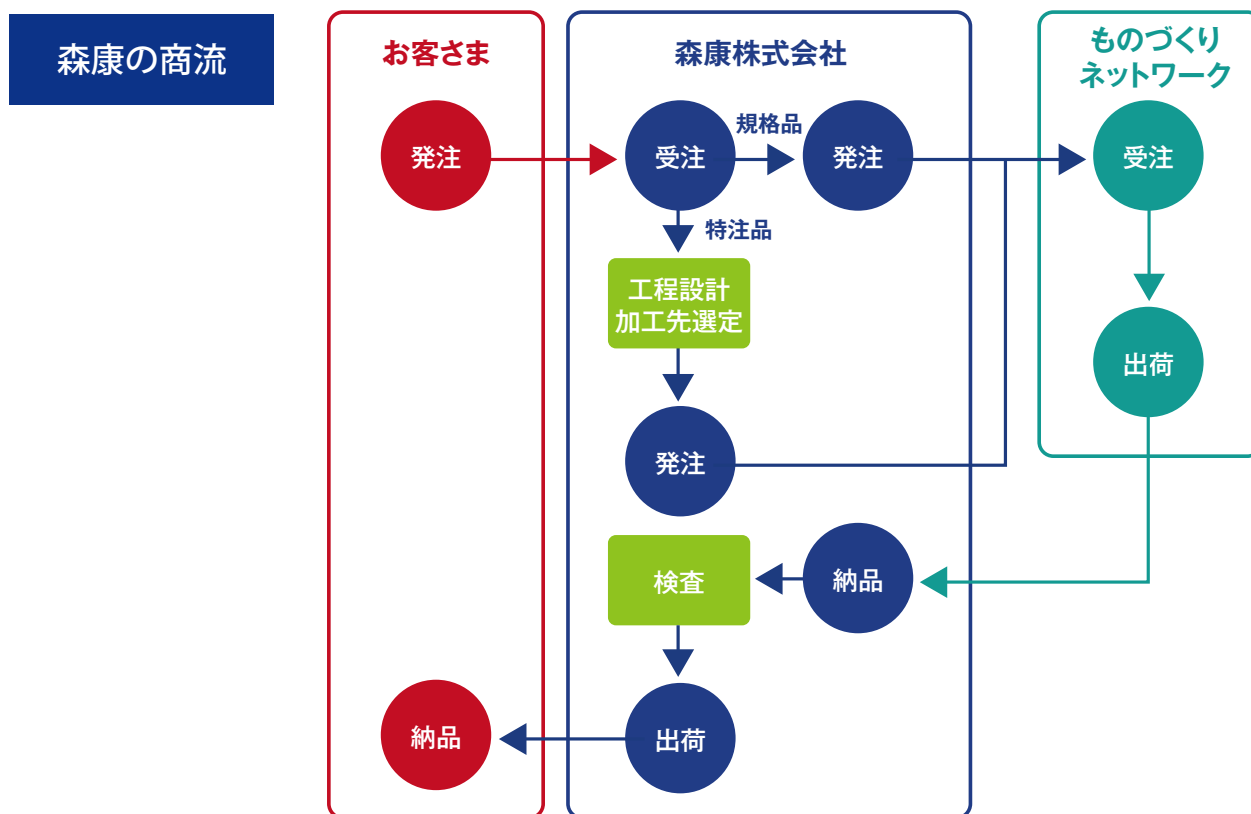
代表取締役社長 森 友恒

※ファブレスメーカーとは……工場を所有せずに製造業として活動を行う企業

# 共につくる。調達する。品質を保証する。 ファブレスメーカーとして お客さまのニーズに応えます。

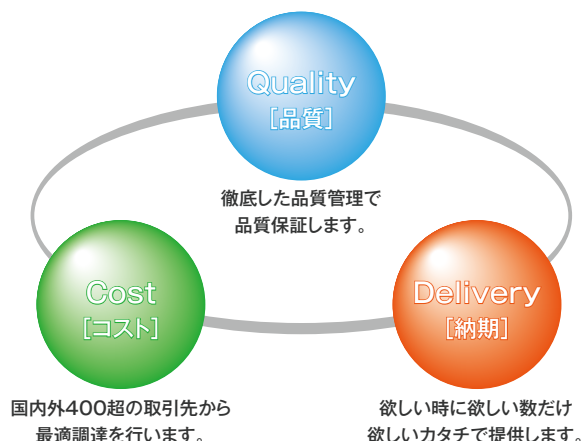
国内400社以上に上る協力企業を束ねる「ものづくりネットワーク」と、  
徹底した品質管理・品質保証体制が森康の持ち味です。

工程設計からコスト管理、納期管理までの全工程を確実にコントロールしながら、  
Q・C・Dすべてにご満足いただける製品をお客さまにお届けします。





「この図面どうしよう?」と悩んだら、森康にお任せ下さい。  
 標準品から手間の掛かる特注ASSY品まで注文書一枚で、  
 お客様の**“調達代行”**をし**“管理工数削減”**をお手伝いさせていただきます。



## 1. ボルト一本からフルカスタムのユニット製品まで

建設機械・産業機械・農業機械関係の組み立て部品を中心に、ボルト一本からフルカスタムのサブAssy、ユニット製品までを取り扱っています。

## 2. 22,000アイテムを超える取り扱い製品

約400社以上の仕入先から、22,000超の製品アイテムを取り扱っています。コマツをはじめとする建設機械メーカー、産業機械・工作機械・農業機械メーカーなどで実績と信頼を積み重ねてきました。

## 3. カスタム製品をワンストップ・ソリューションで

40点以上の部品で構成されるユニット／モジュール製品や、完成までに材料→機械加工→熱処理といった多工程・複合工程が必要なカスタム製品も、注文書一枚で購入いただけます。図面さえいただければ、工程設計からコスト・品質管理、工程・納期管理までの全工程を森康が担当。ワンストップ・ソリューションでニーズにお応えします。

## 4. 高度な技術を持つ工場を組織化

「森康ものづくりネットワーク」として、材料、鍛造、機械加工、熱処理、研磨・メッキ・表面処理、アッセンブリ…などで高度な技術を持つ、協力企業を組織化。それらを仕様・品質・コスト・納期に応じてコーディネートし製作できる体制を整えています。

## 5. コストの最適化、調達のマルチソース化に対応

「森康ものづくりネットワーク」では、複数社からの相見積りによる調達コストの最適化を実行。また万が一の天災などのリスクヘッジのため、複数のルートから調達できるマルチソース化を進めています。

## 6. 「物流+情報」機能をさらに強化

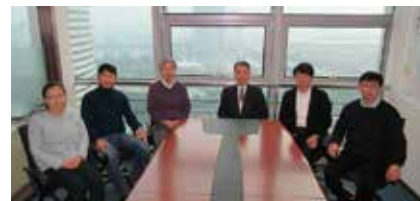
2016年7月、新物流センターの竣工とともに新物流管理システムが稼働を始めました。規格標準品の在庫管理から特注品の生産状況、デリバリー状況を一元的に管理。将来的にはお客さまがあたかも自社の資材調達・生産管理部門のようにチェック可能なシステムを視野に改良を進めています。



# 国内外のネットワークを活用。 効率的な調達・配送でお客さまに貢献します

## 高品質、低価格の海外調達

2011年に中国江蘇省に現地法人・金澤森康商貿（蘇州）有限公司を設立。  
現地協力工場ネットワークを活用し、コスト競争力のある機械加工品・ロストワック  
ス品・鍛造品などを調達、販売しています。



金澤森康商貿（蘇州）有限公司の  
入居ビルとスタッフ達

### 森康による海外調達のメリット

#### ◎コストダウン

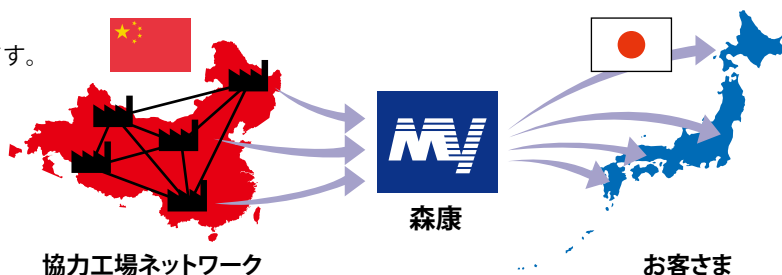
- 1) コマツ認定の安価で良質な材料を採用しコストダウン
- 2) 鋳鍛造など日本国内で競争力がなく割高となった製品の提供でコストダウン
- 3) ロストワックスなど日本に比較し安価な製品の提供でコストダウン

#### ◎品質管理

- 1) ISO国際規格に準拠し、国内外の顧客への納入実績多数の優良加工先を厳選
- 2) 見積段階でお客様の要求品質に沿った材料（コマツ認定材料）、加工先をご提案
- 3) 加工先での全数検査、定期的な品質管理指導、国内本社での受入検査を実施  
（コマツの初物10点セット、QC工程表の提出などにもご対応します）

#### ◎納期管理

- 1) 製造工程、出荷前検査、梱包の各リードタイムを  
考慮した納期管理を現地日本人スタッフが実施致します。
- 2) お客様とは国内取引となりますので、  
納期については森康にお任せ下さい。



**工程設計、品質管理、納期管理をご注文書一枚で全て代行致します！**

## 「物流+情報」機能をさらに強化

2016年7月、本社横に建設された物流センターの竣工と共に、新物流管理システムが稼動しました。

規格標準品、特注カスタム品の受注から在庫状況、生産状況、検査状況、デリバリー状況までを一元的に管理しており、ハンディ端末に表示される作業指示の元、各部門は最適かつ効率的に業務を実施しています。



物流オペレーションセンターでは、お客様の希望納期に対する製品の  
出庫状況を常時把握・管理しています。



物流スタッフは、ディスプレイに表示  
される全担当者の出庫状況を確認  
し、状況に応じて柔軟に人員を調整  
することで、納期通りの出庫体制を  
築いています。

# “品質第一”の信念のもと、 信頼ある製品をお届けします。

## 1. 徹底した品質保証体制

森康には「品質保証部」が設けられ、専任の品質保証責任者のもと社員の1割に当たる9名のスタッフが業務にあたっています。FTA（不具合要因分析）などの手法を駆使し、自社のみならず仕入先も含めたトータルな仕組み・ルール・手順・基準づくりを推進しながら、お客さまに安心してお使いいただける製品供給に努めています。

## 2. 多工程品は工程ごとにチェック

森康では規格品のボルト一本から特注のAssy品まで、あらゆる製品の品質を保証します。完成までに複数の工場および工程での加工が必要な「多工程品」については、工程ごとに品質保証部でのチェックを行っています。



## 3. 協力工場にも品質方針を徹底

全協力工場に対して品質基準の徹底を図るとともに、品質管理部門などを持たない小規模な工場については検査機器や治具の提供や、品質指導などを行っています。協力工場とともに成長しながらより高度な品質の実現を図っています。

## 4. 充実した品質検査設備機器

品質管理室には恒温室を設け、三次元形状測定器、画像処理測定器、表面粗さ測定器など最新鋭の検査機器をラインナップしています。



ハンディプローブ三次元測定機



表面粗さ・輪郭形状測定機



画像寸法測定器



ポータブル  
三次元測定機



三次元測定機



一本のボルトから、  
フルカスタムのAssy品、オーダーメイドまで、  
お客さまのニーズにお応えします。



### 表面処理品（メッキ）＋塗装品

主な製品／カバー・ブラケット・プレート・チューブ・クランプ等

様々な部品の下塗り＋上塗り塗装、電着塗装（カチオン電着）・各種メッキ・パーカー処理などお客様のニーズにお応えした製品をお届け致します。



### 機械加工品

主な製品／ハウジング・ブロック・プラグ・リテーナ・エルボ・プレート・ピン・クレビス・ギブボルト・アロー等

ローリング鍛造品・鍛造品・溶断品からの材料歩留りを考慮した上で、NC機・M/C・複合機をフルに活用し、徹底したQCD管理を行い、安心した製品をお届け致します。



### ロストワックス品

主な製品／ブラケット・ブロック・レバー等

複数の部品を一体化し、加工工数を減らすことでコスト低減を実現致します。

材質SS400・S45C等の相当鋼種・ステンレス鋼等も対応致します。





## 板金溶接品

主な製品／ブラケット・レバー・ブロック・カバー・ロッド・バンド・ブラケット等

複数の部品を当社でそれぞれ発注・調達し、溶接・板金・表面処理までを行い、お客様の調達の手間を省き管理を簡素化致します。

半自動アーク溶接・TIG溶接・スポット溶接・摩擦圧接・ろう付け等も対応致します。



## ASSY品

主な製品／ブロックASSY・カバーASSY・コントローラーASSY・チューブASSY等

部品をそれぞれ調達し、組み立てまでを行います。このようなASSY品を注文書一枚でお届けすることが出来、お客様の管理工数の大幅な削減に繋がります。



## 締結部品

主な製品／ボルト・ナット・ワッシャ・シート・プラグ・スナッピング・溝付きナット等

その他、特殊サイズ、強度区分に応じた様々なラインナップを取り揃え、タイムリーにお届け致します。



## 海外調達品

主な製品／ハウジング・ホイール・ディスク・スペーサ等

精密加工品を中国蘇州の現地法人にて調達致します。鍛造・NC機・M/C・測定機等（3次元測定機含む）設備は日本の設備と同等です。お客様に代わって、コストの厳しいものの調達に挑戦致します。



## 関連会社（ダイワ（株））取扱品

主に、油圧シリンダー、ピストン型アキュムレータの設計、製造を行っております。

### ■生産ライン設備能力

#### 【油圧シリンダー】

シリンダー内径 …  $\phi 35\text{mm} \sim \phi 180\text{mm}$   
 ロッド径 ……………  $\phi 20\text{mm} \sim \phi 140\text{mm}$   
 ロッド長さ ……………  $\sim 1500\text{mm}$   
 ストローク …………… MAX 2000mm  
 常用圧 ……………  $\phi$  MAX 35MPa

#### 【ピストン型アキュムレータ】

内径 ……………  $\phi 50\text{mm} \sim \phi 150\text{mm}$   
 常用圧 ……………  $\phi$  MAX 21MPa

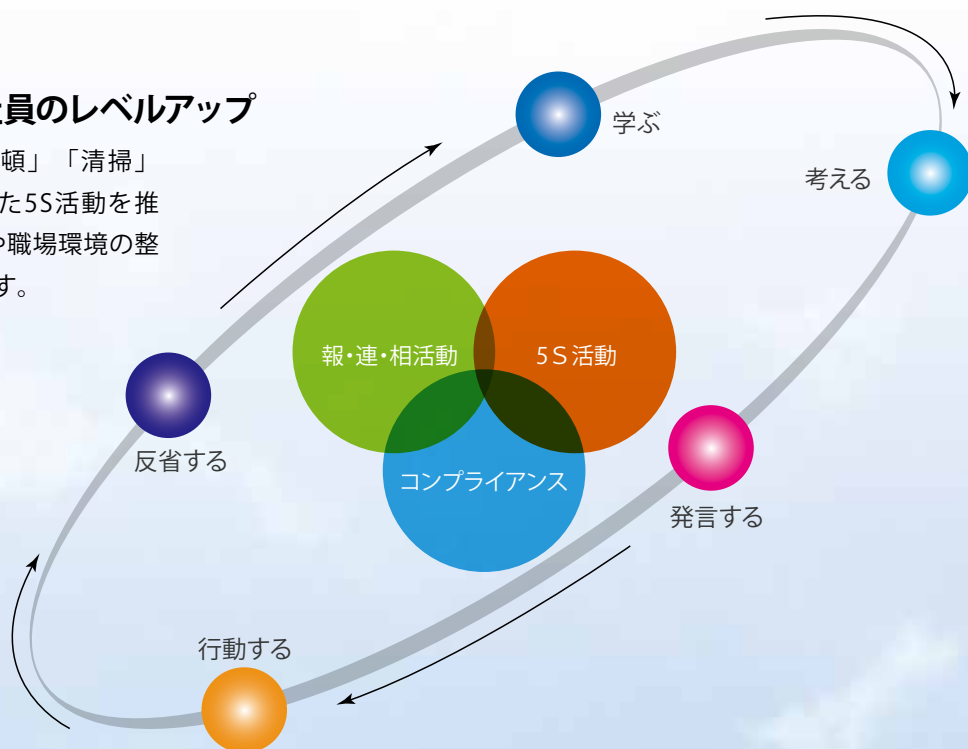
※上記以外のスペックについては個別ラインにてご対応致します。

# 「喜ばれる いい会社」を目指して。

お客さまから信頼され、頼りにされる会社を目指し、  
設備やシステムの充実、人材の育成、ネットワークの拡充に力を注いでいます。

## 5S活動で業務の効率化と社員のレベルアップ

全社員参加のもと、「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「躰」をキーワードとした5S活動を推進。知恵を出し合っの業務改善や職場環境の整備などに、継続的に取り組んでいます。



## 会社概要

名称 森康株式会社  
代表者 森 友恒 (もりともつね)  
創業 昭和20年11月1日  
設立 昭和40年9月1日  
所在地 〒923-0804 石川県小松市光町89番地  
TEL: 0761-21-2233 FAX: 0761-24-6024

資本金 1,500万円  
社員数 100名 (2024年4月現在)  
取引銀行 北國銀行  
三井住友銀行  
福井銀行

営業品目 1. 建設機械部品のASS'Y、製造販売  
2. 各種産業機械の組付け部品、ASS'Y品の製造販売  
3. 工作機械の販売

仕入先 海外・国内 計約400社

主要販売先 株式会社小松製作所、株式会社室戸鉄工所、大京株式会社、ジェイバス株式会社、小松ウォール工業株式会社、株式会社小松電業所、共和産業株式会社、三菱ふそうバス製造株式会社、大同工業株式会社、株式会社前田製作所、株式会社ネオックス、マーテック株式会社 その他 計約200社

## アクセス

電車の場合………小松駅から徒歩約10分  
自動車の場合……小松インターチェンジより約15分  
飛行機の場合……小松空港よりタクシーで約15分



## 本社社屋



## 物流センター



## 海外拠点



### 金澤森康商貿(蘇州)有限公司

#### 【事業内容】

1. 建設機械の組付け部品、Ass'y品の輸入製造・販売
2. 各種産業機械の組付け部品、Ass'y品の製造・販売
3. 工作機械の販売

## 関連会社



### ダイワ株式会社 (ダイワ精機)

#### 【事業内容】

建設機械・各種産業機械の油圧シリンダー製造・販売



### 光精工株式会社

#### 【事業内容】

- ・シリンダー用 ピストンロッド加工とメッキ処理
- ・シリンダー用 部品製造、加工
- ・その他機械用 部品加工





**森康株式会社**

<https://www.mykk.co.jp/>

〒923-8505 石川県小松市光町89番地  
TEL.0761-21-2233 FAX.0761-24-6024



# 森康株式会社 75年の歩み

## 創業期

昭和20年、小松製作所(現コマツ)は軍需関係の事業から撤退し、新たな歩みをはじめました。終戦を機に創業者森康治は、それまで勤務していた小松製作所を退職。身ひとつで小さな商店を興しました。コマツの建設機械用資材の他に、粟津や美川に数多くあった擦糸工場で使われるシャフトやベアリングなど繊維機械部品を取り扱っていました。



創業当時の森保商店

- 1945年(昭和20年) 11月/森 康治が森保商店を創業。  
(株)小松製作所(現コマツ)と取引を始める。
- 1954年(昭和29年) 5月/コマツ協力がスタートし、同時に協力会社の指定を受ける。

## ファブレスメーカーへの第一歩 ~グループ会社 ダイワ(株)の設立~

ダイワ(株)を設立、自前で油圧シリンダーの製造技術を学びコマツへの供給を開始しました。一方、コマツは米キャタピラー社の日本進出に備えQCの考え方を導入し全社的な品質向上活動(マルA対策)を展開。資材をメーカーから直接購入する「集中購買」へと移行したことで売り上げは10分の1となり、森康の経営は苦境に陥りました。しかしコマツの協力会社・外注先などの多品種小ロット需要に経営の活路を見出し、業績を伸ばしていきました。またこの頃より、それまで「生」で納入していたボルトを小松界限の熱処理工場で焼入れして供給するサービスをスタート。今日の「ファブレスメーカー」への道を歩み始めます。



設立当初の大和精機(株)(現ダイワ(株))

- 1961年(昭和36年) 5月/ダイワ精機(株)(現ダイワ(株))を設立し、コマツの建機用油圧シリンダーの生産を開始する。
- 1962年(昭和37年) 8月/第2倉庫を建設、業務の拡張をはかる。
- 1965年(昭和40年) 9月/法人組織に改め、資本金1,500万円をもって森康株式会社を設立。
- 1968年(昭和43年) 6月/需要増加に伴い、国道8号線沿いに新社屋、倉庫を竣工、営業を開始する。ショールームを併設するとともに、加工用のボール盤、旋盤も販売した。
- 1970年(昭和45年) 6月/営業拡張に伴い、社屋増設。
- 1973年(昭和48年) 第一次オイルショック

## Assy品への対応を強化、品質保証し供給

昭和40年代終盤より、複雑なAssy品などを図面で受注するケースが増加しはじめます。森康は、鍛造・鍛造、機械加工、熱処理などを行う地元企業をネットワーク化することで製作。出来上がった製品を自社で検査し出荷するまでを請け負う「ファブレスメーカー」へと発展していきます。さらに1990年には電動駆動部を組み込んだメカトロユニットを設計製作し供給するなど、製品開発機能も充実させていきました。



建設当初の本社にて

- 1976年(昭和51年) 8月/精密機械加工部品の受注拡大に伴い、協力工場の設備の合理化を進める。
- 1978年(昭和53年) 7月/取扱量の増加に伴い、入出荷の円滑化をはかるため、荷受センターを増設する。
- 1979年(昭和54年) 第二次オイルショック
- 1983年(昭和58年) 11月/ベアリングを用いたランナーを独自開発、建築設備機器メーカーへの販売を開始する。
- 1988年(昭和63年) 12月/事務の効率化を計る為、旧社屋の改装と新事務所棟の増築、竣工。
- 1990年(平成2年) 4月/電動駆動部を組み込んだメカトロ型新商品を開発、建築設備機器メーカーへの販売を開始。
- 1991年(平成3年) 5月/森 康治が取締役会長に、森 康修が取締役社長に就任する。
- 2000年(平成12年) 12月/社内のコンピューター管理システムを導入する。

## 建機需要増加によるグループ会社 光精工(株)の設立

2002年まで建機の大不況であったが、2003年から急激に建機が世界的に売れ出し、さらに、コマツからの生産移管も重なり、半年で、受注が3倍に増加しました。そのため、ロッドの外注のクロムメッキがネックとなり、客先納期遅れが相次いで発生しました。そこで、ダイワでも、メッキを自社でやるしかないと決断して、コマツのメッキの専門家から指導を受けて光精工の第一工場を建設し、メッキから稼働を始めました。当初は、ロッドの硬質クロムメッキだけでスタートしましたが、その後、ロッドの加工、高周波焼入れ、溶接まで行う一貫ラインをつくり、現在はシリンダーの主な機械部品は、光精工で生産できるまで成長しています。



光精工株式会社 本社・工場

- 2002年(平成14年) 建機部品、間仕切部品の海外調達を開始する為、中国・韓国企業の調査・研究を始める。
- 2003年(平成15年) 1月/海外調達による建機用溶接シート類の本格的な供給を開始する。  
4月/建機メーカー各社のニーズに応じて、アッセンブリー部品の供給を開始する。
- 2004年(平成16年) 4月/建機用ロストワックス部品の輸入・供給を開始する。  
第2倉庫を増設し、業務拡張する。  
9月/各社向けの板金部品の需要拡大に伴い、溶接・メッキ、塗装までの完品製作部品の本格供給を始める。
- 2005年(平成17年) 光精工(株)を設立する。
- 2006年(平成18年) 光精工(株)の第2工場増設する。

## 海外調達・販売を本格化するため 中国に金澤森康商貿(蘇州)有限公司を設立

2003年から、森康では本格的に建設機械用部品の中国調達を開始しました。現地企業を指導し機械加工部品・溶接部品を調達し、建機関連のお客さまに供給をしてきました。その後、コマツ他多くの国内建機関連会社が中国進出を開始し、そこで、自らも中国に進出すると決め、中国国内のどの地域が良いか調査した結果、蘇州に決定しました。蘇州を選んだ理由は、日本から出るからには中国から日本への輸出ばかりでなく、"日本から中国への輸出"、"中国国内での調達・販売"を視野に入れた上で、発展性、日本との交通の便、中国での交通の便、中国での客先・サプライヤーの多い地域という点で、将来性のある地域であるためです。現在は、建機業界のみならず、工作機械、農業機械など他の業界へも営業を強化しています。中国でも品質管理専任者を設け、品質管理がしっかりとした企業として認知されています。



金澤森康商貿(蘇州)有限公司の入居ビル

- 2011年(平成23年) 中国現地法人 金澤森康商貿(蘇州)有限公司(資本金120万米ドル)開業。

## “ファブレスメーカー”としてさらに躍進

品質を保証し、求められる製品を開発製作し、お客さまのサプライチェーンを担う——そのような一連のサービスを提供できる“ファブレスメーカー”が、森康の目指す姿です。そうしたビジョンの下、森康は、最先端検査機器への大型投資を行うとともに、創業70周年を迎えた2016年には本社に隣接して4階建ての物流センターを新築。お客さまにさらなるご満足を提供できる企業を目指し、機能・サービスの充実に努めています。



物流センター

- 2013年(平成25年) ISO9001・14001取得  
三次元測定器、画像処理機、形状測定器などの最新鋭検査機器を導入
- 2014年(平成26年) 関東営業所を設立し、関東全域の営業強化を図る。
- 2016年(平成28年) 創業70周年  
4階建ての物流センターを建設
- 2018年(平成30年) アッセンブリー部品の社内組立を開始し工程管理強化を図る。
- 2019年(令和元年) 時短勤務、時差勤務、テレワーク勤務体制の整備を図り、働き方を充実する。
- 2020年(令和2年) 森康修が取締役会長に、森友恒が取締役社長に就任する。

